

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 138 3月号

2017年3月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

## 読書と私 No.129

### 「図書館通いの楽しみ」

新宮町 上田 明美

2週間に1度、子どもたちと新宮図書館に通い、借りた絵本などを1日に1～2冊読むことが我が家の日常となっています。図書館に通い始めた頃は、子どもたちも小さかったので、絵本は主に私が選んでいました。季節や行事、子どもの興味に合わせたもの、子どもたちのお気に入りや何度も借りてみたり・・・また私自身が幼い頃に親しんだ絵本を見つけては、懐かしい気持ちに心を弾ませたりしながら、絵本選びを楽しませてもらいました。

子どもたちも成長し、今ではそれぞれが自由に読みたい本を10冊選びます。その本選びに見える個性が面白く、毎回どんな本を選んでくるのかが今の私の楽しみとなっています。最近小学2年生の娘が借りていたのは、絵本や童話・物語の児童書以外にもなぞなぞ・言葉遊び、トランプ・ゲーム、お菓子作りの本など。誰かと一緒に楽しむことが好きな娘らしく、興味の幅が広がっているようです。お菓子作りの本を選ぶところは、女の子ならではの成長を感じてしまいます。一方、幼稚園年長の息子は、恐竜や生き物などの本や図鑑が大半で、その中でも恐竜に関する本は毎回欠かさず借りています。興味を示したものへの探求心が強いのか、何度も同じ重たい図鑑を借りては読み返している姿がとても可愛いので、「また借りるの?」と言いたい気持ちもなくなってしまいます。

図書館は、たくさんの本に触れることができ、子どもたちの「読みたい!」「知りたい!」という気持ちに答えてくれます。そして思う存分本を楽しむことを叶えてくれます。

これから、子どもたちはどんな本と出会い、楽しむのでしょうか? また私自身新たな図書館の楽しみ方を見つけるかもしれません。私の図書館通いの楽しみは、まだまだ続きそうです。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『略奪されたメソポタミア』

ローレンス・ロスフィールド 著 山内 和也 監訳 NHK出版



イラク戦争の混乱の中、2003年4月、イラク国立博物館が襲撃され約1万5千点もの収蔵品が掠奪されるという事件が起きた。人間の顔を写実的に描いた最古の作品と言われる5000年前のワルカの面や紀元前8世紀の象牙細工などの最高傑作とされる貴重なメソポタミア文明の遺産が収められていたが、何者かによって瞬く間に持ち去られてしまった。

本書は、シカゴ大学教授で文化遺産保護を研究する著者が、アメリカ軍人、官僚、考古学者などさまざまな立場の人にインタビューし、当時のアメリカ国務省やペンタゴンで何が起きていたのか、イラクの文化財保護を願う世界の考古学者の言及がなぜアメリカの政治家や軍関係者に伝わらなかったのかなど、これまで公にされなかった事実から、この悲劇の要因を解明し

ていったものである。

戦争によって被害が及ぶのは人間だけではない。もうひとつの大きな被害者は、文化遺産である。数年後、盗まれた収蔵品のうち数千点は取り戻されたものの、ブラックマーケットで取引されることとなった遺物は、出品されても資金不足で買い戻せない状態が続いている。また、民間人が生活資金のため盗掘するという遺跡の破壊が後を絶たず、毎週数千の遺物が盗難に遭っているという現実もある。著者は、そのうち世界中の文化遺産が失われてしまうのではないかと嘆く。失われた文化遺産をすべて戻すことは不可能であるし、消えた歴史を回復させることもできない。

戦争が招く被害の中で、見過ごされがちな文化遺産に焦点を当てることで、人間がこれまでに築き上げてきた文化遺産の尊さ、そしてそれを守り続けることの難しさを深く考えさせられる1冊である。 (龍野図書館 河部)

トピックス

イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで

御津図書館

郷土の偉人“再発見”

おか ひらやす 岡 平保と『播磨国風土記』

江戸時代末期、室津の賀茂神社の神官であった岡平保は、当時写本が流布し始めた『播磨国風土記』を研究し、注釈本の先駆けとなる『風土記考』を執筆しました。『播磨国風土記』成立1300年を経た今、『播磨国風土記』研究の先駆者として注目される「郷土の偉人」岡平保の功績を紹介します。

【講師】播磨学研究所研究員 垣内 章氏  
【日時】3月11日(土) 14時～15時30分 【場所】御津図書館  
【対象】一般(中学生以上) 【定員】40名(要申込・先着順)  
【申込】御津図書館(電話可)

揖保川図書館

児童文学へのご招待

“旅の道連れ”をテーマに児童文学のブックトークを行います。

【日時】3月12日(日) 10時30分～11時30分  
【場所】揖保川図書館 おはなしのへや  
【対象】一般(15歳以上)  
【定員】10名(要申込・先着順)  
【申込】揖保川図書館(電話可)

ブックトークとは  
ある1つのテーマにそって何冊かの本を紹介することです。図書館では、学校等へ司書が訪問し新たな本の世界を知るきっかけづくりとして行われています。

龍野図書館



第11回 龍野ひなまつり関連行事  
「缶バッジを作ろう」

好きな絵を描いてオリジナル缶バッジを作ってみませんか

【日時】3月25日(土) 10時～15時 ※ 時間内であればいつでもお越しください  
【場所】龍野図書館 2階 研修室 【費用】100円

『おまたせクッキー』

パット＝ハッチンス 作 乾 侑美子 訳 偕成社

お母さんがビクトリアとサムのためにクッキーを12枚焼きました。そのクッキーはおばあちゃんが焼いたとてもおいしいクッキーと同じくらいおいしそうでした。でもお母さんはおばあちゃんのクッキーは特別だと言います。

ビクトリアとサムが6枚ずつ分けて食べようすると、玄関のベルがピンポーンと鳴りました。お母さんがドアを開けると、お隣のトムとハナが遊びに来たので、一緒におやつを食べようとテーブルへ招きます。4人がクッキーを食べようとした時、またベルが鳴りました。次はピーターとピーターの弟が来たので、6人は2枚ずつクッキーを食べようしました。すると、またベルが鳴りました。今度はジョイとサイモンと4人のいとこ達でした。そこで12人の子ども達は、1枚ずつ食べようとします。

ところが、ピンポーン、再びベルが鳴りました。子ども達はクッキーを見つめます。お母さんは子ども達に今のうちにクッキーを食べるように勧めますが、サムがドアを開けに行きます。現れたのは、たくさんのクッキーを焼いて持ってきてくれたおばあちゃんでした。

鮮やかな挿絵は表情を豊かに伝え、友達が増えるにつれクッキーの分け前が減り、聞き手はハラハラしますが、おばあちゃんの登場で満足します。読んでもらえれば、4歳ぐらいから。（新宮図書館 井口）

『山賊のむすめローニャ』

アストリッド・リンドグレーン 作 大塚 勇三 訳 岩波書店

落雷で2つにさけた古城に、争う2組の山賊が住んでいました。首領のマッティスには娘のローニャが、もう一方の首領ボルカには息子のビルクがいました。同じ落雷の日生まれた2人は、古城の深い裂け目“地獄の口”で出会い、きょうだいのように仲良くなりました。

ところがある日、マッティスが森でビルクを捕らえ、ボルカ山賊に対し、息子と引き換えに古城を出るよう命じます。悲しむローニャは、自らボルカ山賊に捕らえられました。娘の行動に失望したマッティスは、戻ったローニャと口もきかず距離をおきます。山賊という仕事に疑問を覚え、親達と気まづくなった2人は、森で生活を始めました。親から教わった暮らし方で糧を得ますが、次第に厳しい冬の暮らしが近づき、食料が尽きかけた頃、マッティスがビルク

も一緒に帰ってく  
るよう頼  
みにきま  
す。ロー  
ニャは父  
か友のど  
ちらかを  
選ばずともよくなり、山賊同士も打ち解けて仲良くなります。

ローニャが山賊をやめるといふ決断を下す結末は、ビルクとの楽しく明るい未来が予想され幸せな気持ちになります。

また、スウェーデンの伝説上のいきものや四季の変化の描写により、豊かな森の生命力やそこで生きていく人間の知恵やたくましさを経験できる1冊です。小学校5年生ぐらいから。（揖保川図書館 竹内）



# 3月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

## ★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

**龍野図書館** 【対象】1～3歳児、保護者  
11日(土)・18日(土) 11時～11時20分  
『こくまちゃんおはよう』他

**新宮図書館** 【対象】2～4歳児、保護者  
13日(月)・19日(日)・27日(月) 11時～11時20分  
『ととけっこうよがあげた』他

**揖保川図書館** 【対象】2～4歳児、保護者  
4日(土)・11日(土)・18日(土) 10時30分～10時50分  
『おおきなかぶ』他

**御津図書館**  
【対象】1～4歳児、保護者  
12日(日)・19日(日)  
11時～11時20分  
『はなをくんくん』他

【対象】5歳児～  
12日(日)・19日(日)  
11時30分～11時50分  
『くんちゃんのはじめてのがっこう』他

## ★ おはなしのじかん【対象：5歳以上】・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌、語りなど

**新宮図書館**  
4日(土)・11日(土)・18日(土)・25日(土)  
10時15分～10時45分  
『ミリー・モリー・マンデーおつかいに行く』他

**揖保川図書館**  
4日(土)・11日(土)・18日(土)  
11時～11時30分  
『きつねのホイティ』他

## ★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

**龍野図書館**  
10日(金) 10時～11時30分  
『黒い眼と茶色の目』徳富蘆花 作

**揖保川図書館**  
17日(金) 10時～12時  
『文鳥』(漱石全集8) 夏目漱石 作

**御津図書館**  
15日(水) 13時30分～15時30分  
『櫛挽道守』木内昇 作

## ★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

**龍野図書館**  
9日(木) 10時～11時30分  
『リヴァプールの空』ジェイムズ・ヘネガン 作

## ★ 古文書を読む会【対象：一般】

**御津図書館**  
4日(土) 13時30分～15時30分  
古文書の解説

## 館内特集・展示 (一部紹介)

**龍野図書館**  
**贈り物から伝わる  
メッセージ**  
大切な人に自分の気持ちを伝える贈り物のアイデアや先人が残した言葉の贈り物・・・など、いろいろな角度から贈り物を特集します。  
【期間】3月30日まで

**新宮図書館**  
**名村一義氏 写真展示**  
白鳥たちの生態をうつしだした写真を展示し、鳥の写真集も集めています。  
**絵で学ぶ  
絵を読む**  
詳細に描かれた図から学ぶ本や、親しみやすいイラストを多く取り入れた本などを特集しています。  
【期間】3月30日まで

**揖保川図書館**  
**～SF小説いまわかし～  
H. Gウエルズを  
継ぐものたち**  
『透明人間』『地底旅行』等、古今東西のSF小説を紹介しています  
**新しいこと  
はじめよう**  
入園、入学、新社会人のマナー習い事など、新しいことに挑戦！  
【期間】3月30日まで

**御津図書館**  
**はりま御津ライオンズクラブから  
たのしい本いっぱい!!**  
はりま御津ライオンズクラブから、地域貢献の一環として絵本や工作の本など、児童書48冊を寄贈していただきました。  
児童の特集コーナーで紹介しています。  
【期間】終了日未定